

個別事業説明書【PR版】

企画振興部

1 若者参画型地域づくり推進事業費

第一線で活躍するアーティストやクリエイターなどを交えながら本県の魅力を掘り起こすクリエイティブなイベント「えひめデザインウィーク2024(仮称)」を開催し、クリエイター交流会やまちづくりワークショップの開催を通じて子どもや大学生など本県の未来を担う若者のシビックプライドを醸成し、定住意欲の向上を図る。

お問い合わせ先
 企画振興部政策企画局
 地域政策課
 (089-912-2217)

指標	施策	2 魅力ある地域の基盤づくりと地域への定着の促進	現状値	20,205人(R5年)
	KGI	転出者数の減	目標値	19,000人(R8年)
指標	細施策	2-1 個性ある地域づくりの推進	現状値	92団体(R5年度)
	KGI	県内の地域運営組織の数(団体/年度)	目標値	96団体(R8年度)

事業イメージ	KPI	将来地域のために活動したいと思った参加者の割合(アンケート)	現状値	(参考)小学生約78%、中学生約68%
			目標値	100%(R6年度)

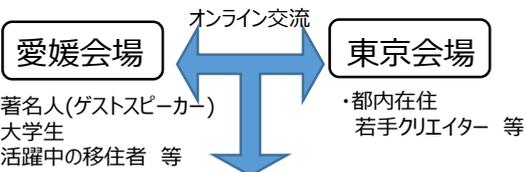
(現状値参考) 令和5年度全国学力・学習状況調査
「地域や社会をよくするために何かしたいと思うか」

若者の県外流出を食い止め、転出超過を解消するためには・・・
若者が愛媛の魅力再認識し、住み続け、活躍できるイメージを持つことが重要

「えひめデザインウィーク2024(仮称)」の開催

① クリエイター交流会

愛媛の若者と都内のクリエイターがトークセッションや意見交換を実施



- ☑愛媛の魅力再発見
- ☑愛媛で活躍できるイメージを醸成

② まちづくりワークショップ

小学校高学年の児童が、将来住んでみたい「愛媛の未来」をイメージして架空の島の模型を制作



住み続けたい地域イメージの醸成

(愛媛及び東京の双方から見た愛媛の魅力発見、子どもが考える住みたい地域イメージの創造)

若者のシビックプライド醸成

(地域の一員として主体的に地域づくりに関わる当事者意識の醸成)

将来的な
若者の定住意欲の向上

事業概要

○えひめデザインウィーク2024(仮称)の開催 19,000千円
 【イベント概要(案)】

1 若者によるエヒメの未来創造クリエイター交流会 令和7年2月頃

- (1)概要：著名人をゲストスピーカーに招き、県内の若者が東京在住の若手クリエイター等とのトークセッションや自由な意見交換を通じて、愛媛の魅力再発見し、愛媛で活躍するイメージの構築を図る。(テーマ：①愛媛と都会との魅力の比較、②県内を拠点に国内外で活躍できる可能性、③フリートーク)
- (2)参加者：延べ300名(100名×3テーマ)(県内)大学生や県内で活躍している移住者等、(東京)都内在住の若手クリエイター等
- (3)会場：愛媛県内及び都内の2か所

2 えひめ子どもまちづくりワークショップ 令和6年12月～令和7年3月

- (1)概要：伊東豊雄氏を塾長に迎え、児童が「まちの模型作り」を通じて、自由な発想で将来住んでみたい「愛媛の未来」を考えることで、地域への理解と愛着を深める。
- (2)参加者：県内の小学校高学年の児童 20名
- (3)回数：5回(ワークショップ4回・成果発表会1回)

3 経費積算 19,000千円(委託料 18,460千円、事務費 540千円)



2 官民共創拠点整備推進事業費

新第二別館1・2階に設置する官民共創拠点(令和8年4月供用開始予定)の具体的な整備内容に係る公募を行い、県内外の産学官等が地域課題の解決に向け共創し、県内企業の稼ぐ力の向上やスタートアップの支援等を通じた地域経済の活性化等につなげる拠点整備を進める。

お問い合わせ先
企画振興部デジタル戦略局
スマート行政推進課
(089-912-2286)

指標	施策	27住民の暮らしを便利にするスマート行政の実現(DX) KGI DXの推進による利便性・付加価値向上を実感している県民の割合	現状値 16.2% (R5年度) 目標値 令和8年度まで毎年向上
	細施策	27-2 県民向けDXの推進による利便性・付加価値の向上 KGI デジタル総合戦略のうち県民向けDXに関する戦術の進捗度	現状値 100% (R3~R5年度) 目標値 100% (R8年度)

事業イメージ **KPI** 「新第二別館官民共創拠点」構想・設計プロセス進捗率
現状値 -
目標値 100% (R6年度)

現状：トライアングルエヒメ事業等を通じてデジタル実装・稼ぐ力の向上・デジタル企業の誘致等に注力
課題：「先進的DX関連企業」から「県」に対する自社技術等の提案(一方通行)が主流で地域課題の掘り起こしが不十分。多様化する地域課題の解決には**多角的な視点で新たな価値を生み出す『共創』の考え方が重要**
対策：地域課題の解決を更に加速させるため『共創』の仕組みを導入し、県もメンバーの一員として、多くの利害関係者(県内外企業・市町・県民等)と**継続的に対話を行う場として「官民共創拠点」を整備**

事業概要

■官民共創拠点の整備具体案の公募 23,100千円

新第二別館1・2階に設置する官民共創拠点(令和8年4月供用開始予定)について、**具体的な整備内容に係る公募**を行い、地域課題の解決に向けた「共創」の考え方や仕組みを導入し、オープンで産学官の対話生まれやすい施設として整備を進める。

<委託内容>
○新第二別館官民共創拠点整備の具体案(有効面積約1,200㎡)(ステージ、ミーティングルーム、イベントスペース等)
○概算見積作成

R6年度9月補正予算
・具体的な施設案(建築パース等)
・必要な什器等の洗い出し
・整備に係る概算見積り

R7年度末完成
具体的な施設案等を基に設計・施工

■事務経費 483千円

第二別館		
1F	出会う・繋がる <Connect>	県内外の産学官金が出会い、繋がる場
2F	学ぶ・育む <Cultivate>	出会った事業者や県職員が地域課題の解決をけん引し、学びながら共に成長する場
第一別館		
6F	挑む・拓く <Challenge>	県内へのデジタル実装および技術・事業の定着と価値創造が行われる場

